



桜 さくらじま

令和5年9月1日 N013

【学校教育目標】
自ら学び、高めあい
よりよく生きようとす
る子どもの育成



2学期が始まります

長い夏休みが終わり、今日から2学期がスタートします。悲しい事故が今年の夏も全国で起きてしまっていますが、本校においては大きなケガや事故の報告もなく、元気に子どもたちと2学期が再開できることにまず安堵しています。これも保護者のみなさまのご協力あつてのことと感謝します。ありがとうございます。

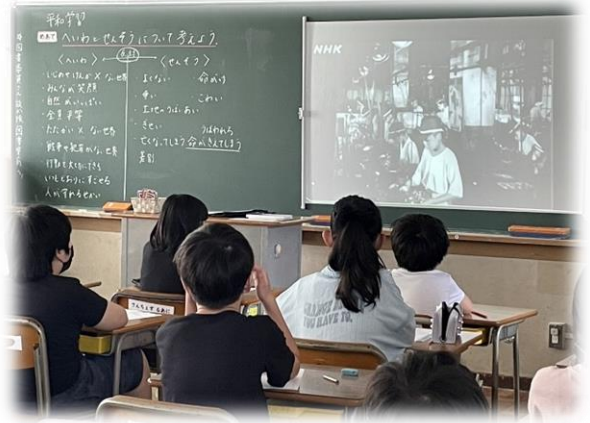


さて、2学期は1年の中で一番長く、また一番充実する、学年の中心となる学期です。学級が始まったばかりの1学期と違い、2学期は学習を通して、また学級活動の様々な取組を通して「友達と深くつながる」「自分の考えを広げる」「多様な考えを知る」等の学びを進めていく学期となります。まずはクラスの友達と、そして次に学年の友達とつながりをより深めていってほしいと思います。学校生活だからこそ、集団の中の一人として自分をとらえ、自他ともに大切に考えた行動ができる子どもたちを目指して職員一同教育活動を進めていきます。

始業式で子どもたちに、日々の学校生活を丁寧にコツコツ積み重ねることが大切であること、またそのことが自分の一番の力となることを伝えました。ちょっとした頑張りを重ねることで、大きな頑張りができるようになり、何度も繰り返し行うことでそのことが苦でなくなる力をつけるのが、努力を重ねるといふことだと話しました。そして、いつもの毎日があるからこそ、楽しい行事がより楽しく感じられるものです。2学期は社会見学や遠足、修学旅行など楽しい行事もたくさんあります。頑張る時も楽しむときも共に一緒に切磋琢磨することで、友達や先生とのつながりが深くなり大切なものになっていきます。時には、日々の学校生活の中で、友達との関係がうまくいかなかったり、嫌な思いを感じたりすることもあるかもしれませんが。その事が子どもたちの経験値となり、自分に降りかかった負荷を乗り越えていける力をつけるチャンスでもあります。そんな時は、改善方法を共に考えていきたいと思えます。気になる様子がありましたら、担任まで連絡をお願いします。子どもたちの健やかな成長を願い、それぞれの立場で支え合っていたらと思っています。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

とうこうび へいわ かんが 登校日に平和について考えました

今年は終戦から78年目を迎えます。戦争体験をされた方も少なくなってきた今、戦争について考える機会をもつ事はとても大切だと考えています。原爆投下日や終戦記念日のある8月はメディアでも取り上げられ、子どもたちが戦争について目にする機会も増えます。学校においても夏休みの登校日を利用して子どもたちに戦争や平和について考える学習に取り組みました。1年生から6年生まで学年の発達段階に応じて教材を工夫し学習しました。6年生では、今進行中であるロシアとウクライナの戦争について取り上げ、学習をしていました。1年生は絵本を題材としていました。子どもたちは真剣に取り組んでいました。



なつやす せんせい 夏休みの先生たち

夏休みの期間中は職員のいろいろな学習会や研修がたくさんありました。校内で行うもの、中学校区で行うもの、県や鈴鹿市全体で行うもの等様々です。講演会に参加したり、議論をしたり研修の形も様々です。また、内容も2学期からの授業研究であったり、実践交流会だったり、行事の計画を練ったりと多岐にわたっています。教師としての力量をスキルアップするため、どの研修にも、前向きに参加していました。夏休みはいろいろな面で職員が学びを深め、準備を整えた時間だといえます。今日からはまた、子どもたちと共に充実した2学期をスタートさせます。よろしくご協力の程お願いします。



れんらくづつ ねんせい ねんせい 連絡帳について(4年生~6年生)

クロムブックを毎日持ち帰っている4年生~6年生についてのみ、2学期より翌日の連絡事項を学級のクラスルームに配信することとなりました。これまで登校後の朝時間に児童が黒板を見て連絡帳に書き写していましたが、変更により委員会活動や授業の準備等に余裕が生まれるものと考えています。従来の連絡帳は学校と家庭との連絡ツールとして使用していきます。連絡がありましたら連絡帳にてお知らせください。また、クロムブックの充電と連絡帳は従来のまま毎日持たせていただきますようお願いいたします。